



“かける”自治会シンポジウム
－組織を超えてつながり、生まれる力－

緑が丘地区 事例発表 “自治会 ^{かける} × 防災”

令和8年1月14日
緑が丘地区連合自治会
会長 新沼 隆三





目次

- 1 緑が丘地区の概要
- 2 緑が丘地区連合自治会・同 防災会
- 3 緑が丘地区の防災の取組①
緑が丘地区防災訓練（令和7年3月3日）
- 3 緑が丘地区の防災の取組②
防災フェスティバル（令和7年11月8日）
- 4 防災活動に係る主な課題





(5) 沿革

- 本地区は、もともと陽南地区の一部として発展してきた地域。第2次世界大戦の開戦直後、この地域に「中島飛行機宇都宮製作所」が開設され、まちは急速に発展。
- 戦後、同社が撤退し、社宅や寮は引揚者や戦争で家を失った人々の避難先となった。
- 高度経済成長に伴う人口急増で、昭和45年に「緑が丘小学校」が開校。
- 昭和49年に、緑が丘地区（17自治会）は陽南地区から独立。
- 昭和61年には、7自治会が陽光地区として分離・独立し、現在10自治会で構成。

【コラム】「緑が丘」の由来

現在の緑1丁目から4丁目の「緑」と、現在の双葉町の「松が丘」を併せて「緑が丘」に。

昭和22年の緑が丘地区





2 緑が丘地区連合自治会・防災会



(1) 組織

地区内の10自治会を以って組織

(2) 専門部

次の専門部をおき、それぞれの事業を推進

【事業部】

関係機関団体との連絡調整と事業推進

【防犯部】

関係防犯機関との連絡調整と地区内防犯活動

【広報部】

広報紙の発行と啓発活動

【女性部】

各自治会女性部の統括と連絡調整

(3) 主な活動

時期	内容
2月	地域ビジョンキックオフミーティング
3月	地区防災訓練
5月	コミセン地域交流会
7月	地区ふるさとまつり
9月	地区敬老会
10月	地区体育祭
	コミセンまつり
11月	地区防災フェスティバル
3月	地区防災訓練（予定）



コミセン地域交流会 揚げ餅が大人気



コミセンまつり 宮PASSで食事券GET



ふるさとまつり SUBARUのお囃子



体育祭 子どもの参加も多く活気が◎！



3 緑が丘地区の防災の取組①

～「つながり」という「備え」～

(1) 防災本部組織

- ・ 本部長（防災会会長）
- ・ 副本部長（同副会長2名）
- ・ 事務局長（同事務局長）
- ・ 顧問（連合自治会会長、まちづくり協議会会長、社会福祉協議会会長）

(2) 緑が丘地区防災訓練（令和7年3月3日実施 平成14年度から）

ア 目的

- ・ 災害発生時における住民の隣保共同の精神による自主防災活動
- ・ 被害防止及び軽減を図るための知識、技術、防災意識の高揚

イ 場所

緑が丘小学校（校庭・体育館）、各自治会集会所等

ウ 参加者

約300名（各地区住民 約200名、防災会構成団体 約100名）

エ 訓練内容

各自治会の被災の把握、救護所の開設、給食所の開設、応急救護、初期消火、高齢者避難、ポンプ車操法、炊出し等非常食の試食

(3) 防災活動組織

- ① 総務班
- ② 情報班
- ③ 避難誘導・受付班
- ④ 消火班
- ⑤ 救急救護班
- ⑥ 給食・給水班
- ⑦ 資機材班





開会式 揃いののぼりで士気アップ



9分団の操法体験 未来の消防団員



給食所訓練 毎年これが楽しみ！



かまど炊き訓練 最高な炊き具合！



3 緑が丘地区の防災の取組②

～「自分ごと」にする「備え」～

【新】令和7年度 第1回緑が丘地区防災フェスティバル

「栃木県共同募金会」助成金を活用

ア 目的

在宅避難を想定した防災・減災に係る「自助の知識・技術等」の習得と啓発

イ 日程

令和7年11月8日（土）午前10時から正午

ウ 場所

緑が丘地域コミュニティセンター

エ 参加者

102名（おとな：89名、こども：13名）

オ 内容

- ・ 消防職員による防災講話（テーマ：大船渡市山林火災に学ぶ）
- ・ 家庭用防災グッズ展示・頒布
- ・ 防災グッズ工作室・おもちゃ交換会





助成金でのぼりも作成しました！



野沢消防司令補による講話の様子



防災グッズの展示・頒布 協力：コヤマ事務機商会



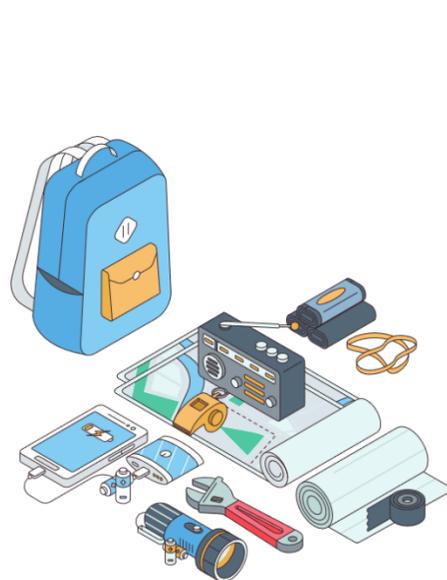
防災グッズ工作室 上手にできた？



4 防災活動に係る主な課題

～近所力・地域力の重層化に向けて～

- 1 災害無風地帯特有の防災・減災ポテンシャルの喚起
- 2 各年代層の参画によるミックスエネルギーの醸成
- 3 共助・外助の促進剤となる自助活動の継続的実践と啓発



緑が丘の地域ビジョン

心豊かに安心して暮らせる助け合いの

みどりがおか

〈ビジョンの6つの柱〉

1. 「み」とめ合う人の輪が生む 安心・安全のまち
2. 「ど」こでも、いつでも支え合う人にやさしい福祉のまち
3. 「り」ょうの手の信頼がつむぐ笑顔のまち
4. 「が」っちり組んだ世代間スクラムが創り出す住みよいまち
5. 「お」おらかな 仲間と励む文化と健康のまち
6. 「か」おの見える協同(協働)が生み出す活力のまち

緑が丘地域まちづくり協議会
〒511-0101 三重県富田町3-3
緑が丘地域コミュニティセンター内
TEL/FAX 0281-6451012



“かける”自治会シンポジウム
— 組織を超えてつながり、生まれる力 —

緑が丘地区 事例発表

“自治会 ^{かける} × 防災”

ご清聴ありがとうございました。

